

# はまだ 市議会だより

Vol.17

2010年(平成22年)5月1日発行



## 1月臨時市議会報告

### “安全・安心まちづくり推進特別委員会”を設置

昨年10月に発生した、県立大学生 平岡 都さんの痛ましい事件の全容がまだ解明されない状況にある中、臨時市議会を開催し、浜田市議会として今後の安全・安心まちづくりに向けた取り組みを推進するため「安全・安心まちづくり推進特別委員会」の設置をしました。

## 3月定例会市議会報告

### 平成22年度浜田市一般会計予算など可決

定例会は初めに平成22年度の市政運営に関する施政方針を市長から、教育方針を教育長から表明があり、その後、市長から49件の議案が提案されました。

その内容は「浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」「浜田市行政組織条例の一部を改正する条例」などの条例議案16件「平成22年度浜田市一般会計予算」などの予算議案27件「指定管理者の指定」「市道路線の認定」などのその他議案6件について審査を行い、平成22年度一般会計予算は賛成多数で、その他は全会一致で原案のとおり可決しました。

議会からは議員提出議案として、「石見交通株式会社へ16路線廃止の撤回を求める決議」「三隅発電所2号機の早期建設を求める決議」等を提出し、原案のとおり可決しました。

目次	○特別委員会報告…………… P2	○決議…………… P8
	○議案質疑…………… P2	○会派代表質問…………… P8
	○常任委員会報告…………… P3	○個人一般質問…………… P10
	(総務文教・福祉環境・産業建設)	○人事案件…………… P14
	○予算審査委員会報告…………… P5	○あとがき…………… P14
	○可決した主な事業…………… P7	

## 特別委員会 報告

安全・安心まちづくり推進特別委員会のこれまでの調査研究の状況

特別委員会設置から計6回の委員会を開催し2月24日に提言を行いました。

①防犯カメラ等の設置基準を作成すること

社会状況を考慮しながら各学校等で行った通学路の危険箇所調査の結果や地域の意見をできる限り尊重したものにすること。

②(仮称)「浜田市安全の日」を制定すること

「市民全体で防犯対策や安全対策を再確認する日」として定め、防犯や安全に対する意識の高揚を図ること。



③安全・安心行政の連携を確立すること

防犯に関する情報や関係施策の一体的な集約を図り、市民へ適切かつ迅速な情報発信ができるよう、各部

## 議案質疑

●浜田市行政組織条例の一部を改正する条例について

三浦保法

①市民福祉部を2つの部に再編するにあたって、組織や人員配置の見直しを必要とした経過を問う。

②国民健康保険等保険事業が市民環境部に入った理由を問う。

③今回新設を予定されている、定住対策課、安全安心推進課の条例等の整備について問う。

人事課長

①他の部と比較して2倍以上の職員数で、労務管理また運営といった観点から2つの部に分ける。

②市民に対する総合窓口といった機能を総合窓口課と医療保険課の2課が果たしているといった面もあるので、医療保険課については市民環境部に所属とした。

③系の業務内容については、規則で行うので、議会の最終日18日の全員協議会で皆さんに周知する。

署間の連携強化を図るシステムや組織体制を構築すること。さらには行政、警察及び関係機関、地域住民が一体となって、防犯体制の強化にとめること。

市長から提案された議案ごとに質疑を行いました。その内容は次のとおりです。

●浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

田村友行

①この機関を設けて温泉の利用料の調整を図られると思うが、この周辺では有福温泉や風の国があり、こちらの料金体系も検討しながら適正な料金を設定していただきたいと思う。例規集にはきんたの里の料金表が無いが、伺う。

産業経済部次長

①きんたの里については、別表では、湯屋温泉のところである。飲料営業供給ということで、使用料1㎡当たり2,100円ということになっている。湯屋温泉はかなりの施設に供給をしている。

●浜田市立養護老人ホーム条例及び浜田市立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例について

西村 健

①ミレ岡見の50床のうち27床を特別養護老人ホーム、23床を養護老人ホームで残す目的、理由について

問う。

②27人の転換先(受け入れ先)の状況を問う。

③需要と供給の関係について予測を問う。

④今回の措置による老人措置費と広域行政組合に支払う負担金について問う。

健康長寿課長

①介護度が3以上という方が40%程度で、そのような方は介護サービスを受けなければならないというような状況だが、施設がないために養護にとどまっている方も多くおられる。また、養護に申し込んでおられる方が25人くらい待機者がいるが順番が来ても元気だから入所しないといったケースもあり、総合的に判断して介護保険施設と整合性をとりながら、施設を整備するといった総合的な観点から養護を特養にすることによって、条例改正を行う。

②27人の入所者の行き先はあと1人が調整中である。調整を行い満床を目指したい。

③需要と供給の関係について、待機者が25人おられますが、支障はないと考えている。

④養護の影響額が3,700万円特養のサービスマスが1,015万9千円ということで、差し引き2,740万円余りが市の負担の軽減額である。

## ●平成22年度浜田市一般会計予算

### 牛尾 昭

①島根県民であるということを確認するということについて県民歌を広く市内に広めるということが必要なのではないかと思うが所見を伺う。

②分別収集計画について、今波子の処理場が稼働している。そこはシャフト方式といってほとんどのものを溶解してしまう。資源化できないゴミは可燃ゴミも不燃ゴミも一緒に処理をすると、市民の方にかかる負荷が低減できる。そういった視点も入れながらこのゴミ処理基本計画策定事業をされるのが懸命だと思うが所見を伺う。

③佐々木先生の処遇についてどのようにされるのか伺う。新産業創出はたちまち結果がでるものではない。費用対効果というものではなくなかなか図れない分野と思うが、事業期間一年で中身がついていないように思うが如何か。

④雇用促進内田住宅について、特に伺います。建替えを行わないというようなことを明言をされると今後の地域の幼小中一貫教育の要望が崩れてしまう危機感があるが所見を伺う。

### 総務部長

①ご提言の県民歌は市内各所県立の施設もあり、そのようなところで、イベントなどあった場合には

県民歌の唱和も含めて今後検討させていただきますかと思う。

### 廃棄物リサイクル課長

②来年度策定をする基本計画については、さらに分別資源化を目指す内容にしたいと思っている。市民アンケートなどとりながら、十分市民の皆様の声を反映した内容の計画にしたいと考えている。

### 産業経済部参事

③テクノカフェ構想推進事業については、新産業ということになると、長いスパンが必要だと思う。21世紀では、成長産業といったものはすでにあるわけで、造船、自動車、液晶など、浜田でもこのような中にどう食い込んでいけるかということ、テクノパークの中で様々な先生が来られ、いろいろなお話を聞きながら新しいものに挑戦していただきながら、雇用の創出を図るものである。

### 産業経済部次長

④雇用促進内田住宅については、特に95%以上の入居率である。10年後は建物の状況、地域の状況、公営住宅の状況を加味しながら関係課も含め検討しなければいけないと考えている。

### 岡田治夫

①予算の計上時期については、雇用促進住宅の購入に関する時期、ゴミなどの不測の事態に関する計上、リハビリテーションカレッジ

に対する支援など重要かつ緊急であることは十分理解できる。計上時期、方法など考慮していただきたい。

②資料提供は、多額の費用を要するものについては充分慎重に対応していただきたいと思うが所見を伺う。

### 財政課長

①予算の計上時期については基本的に定例会に向けその時期についてどうか判断している。市民生活に影響するのでなるべく早くということのを基本のスタンスとしている。

②説明資料について、新規の事業は別様に添付をしている。既存の事業でも内容、制度が変わるものは極力資料を作るようにし、わかりやすい資料になるよう努めていきたいと考えている。



総務文教委員会の審査風景

## 常任委員会 報告

提案議案を専門的に効率よく、4つの委員会が審査を行いました。その結果は次のとおりです。この審査結果を本会議で報告し、議員はそれをふまえ、賛成・反対を表明するわけです。

### 《総務文教委員会 報告》

審査を付託された案件6件について、3月8日に委員会を開催し、審査を行いました。

### ●浜田市行政組織条例の一部を改正する条例

審査のなかでは、改正の目的及び概要などについてさらに詳細な説明を求めながら審査を行いました。委員からは、現在の市民福祉部が2部に再編されることにより、市民にとって担当部署がわかりにくくなるのではないかと、職員数削減に伴う組織機構の見直しで、人員配置が見えずわかりにくい等といった意見がありました。執行部からは、職員数が減る中、職務改善・合理化をより図りながら、市民のニーズに応じた組織機構を構築し、市民サービスを低下させないことを第一に考え業務を行うとの答弁がありました。採決の結果、全会一致で可決しました。

● **浜田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例**

労働基準法の改正に伴うものであることから、法改正の趣旨及び改正の内容について説明を求めながら審査を行い、採決の結果、全会一致で可決しました。

● **浜田市火災予防条例の一部を改正する条例**

改正の目的及び概要について説明を受けた後、委員から条例改正により義務付けが必要になる現状での店舗件数やこの周知方法などについて質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決しました。

● **請願第5号 永住外国人への地方参政権に付与する法律の制定に反対する意見書の提出**

執行部から各国における状況や県議会での意見書提出状況等について情報提供を受けました。審査の中では法案への賛否が様々あり、地方参政権については、日本国民固有の権利であり、慎重に議論すべきで、現時点での参政権付与については反対であり、本請願に賛成する。反対意見としては、税金を払い、行政サービスと同様に受けている永住外国人にも、ごく当然の権利として参政権を付与すべきであるとの意見がありました。また、継続審査とすべきであるという意見もあったところです。

採決の結果、賛成多数で、本請願は採択とすべきものと決しました。

### 《福祉環境委員会 報告》

審査を付託されました議案5件及び請願3件について、  
3月9日に委員会を開催し審査を行いました。

● **浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例**

児童クラブを統合して移設設置する施設の様子や、長浜小学校改築後の児童クラブ設置の考え方、教育委員会や学校との連携等について説明を求めながら審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

● **浜田市立養護老人ホーム条例及び浜田市立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例**

現在の養護老人ホームの入所者の移行先や、今後のベット数の見直しなどについて審査を行った結果、全会一致で原案のとおり可決しました。  
● **ラ・ペアーレ浜田の指定管理者の指定**

指定管理者の選定理由、施設運営の職員体制、効率的な管理運営と運営改善策や新年度の各種講座等の受講者の見直し等について質疑を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

● **浜田市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定**

郵便局に事務を依頼することに

至った経緯や、各種証明書の受付等連絡業務の市としての方向性などについて審査を行った結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

● **脳脊髄液減少症の治療推進及び意見書の提出**

執行部から説明を求め、この病気については明確な診断基準が確立していないことから、国では平成21年度中にそういったガイドラインをつくりたいという方向であるという状況や、市での相談対応などの説明を受けた結果、本請願は全会一致で「採択」とすべきものと決しました。

● **選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対を求める意見書の提出**

委員から、今この問題は全国的に議論がなされており、過去の文化にさかのぼる大きな問題であり慎重な議論が必要で、国民的なレベルで議論を尽くすべきであり、もう少し時間が必要であるという意見や、まだ国論を二分するような段階であり、一地方議会で判断するには少し早い、市民の意見が集約できていない段階で軽々に判断できるものではないという意見などが出され、「閉会中の継続審査」とすることに決しました。

### 《産業建設委員会 報告》

審査を付託されました議案9件について、3月10日に委員会を開催し

審査を行いました。

● **浜田市波佐地場産業技術研修センター条例の一部を改正する条例について**

施設で再オープンされようとしている事業は、三隅自治区の「石州半紙」と「事業の競合」になるのではないかと危惧している。勿論、双方で十分な協議がなされた上での事業実施と考えるが、との質疑に対し、実際のところ競合が全くないとは言いがたいところもある。今後、事業展開される中で石州半紙技術者会の方が困惑されるようなことが絶対にあってはならないという前提で、これまで断続的に協議を積み重ね今日に至った。どのような形態で指定管理者に任せるのかなどについて十分協議・調整し、次期6月定例議会には指定管理者の指名について上程予定である。との答弁がありました。

採決の結果、全会一致で、可決しました。  
● **浜田市集団移転住宅条例の一部を改正する条例について**

当時の入居時の条件、また、解体後の跡地の利用計画はどう考えているのか。

また、当該住宅は老朽化も著しく、現在空き部屋についても非常に多くなっている状況にあるが、現在の入居状況も含め今後の見直しについてどのように考えているのか質疑がありました。

# 予算審査委員会

本会議において、平成22年度浜田市一般会計予算を賛成多数で可決しました。  
その他の平成21年度補正予算と平成22年度当初予算は、全会一致で可決しました。

入居条件としての期限等は特設していないと聞いている。また、解体後の跡地については、棟数もあるため現時点での利用計画は立てていない。また、入居状況については、一応35戸分あるが、その内今回解体する部分は1棟3戸のみで空き部屋も各棟に一つずつあり現在25戸に入居されている。

また、今後の見通しについては、住宅の老朽化が著しく、今後修繕等施す必要があり、大規模な修繕は現時点で検討していないが、屋根など小規模なものについては修繕をしていきたい。との答弁がありました。採決の結果、全会一致で、可決しました。



予算審査委員会の審査風景

浜田市一般会計、特別会計及び企業会計の平成21年度補正予算並びに平成22年度当初予算について、3月11日、3月12日及び3月15日の3日間、予算審査委員会を開催し審査を行いました。審査の内容は、次のとおりです。

## ○平成21年度浜田市一般会計補正予算等について

浜田市一般会計補正予算（第7号）では、国の第二次補正予算関連の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」に質疑が集中し、浜田市の安全・安心な地域社会の実現のための「防犯設備整備事業」については、市民の目線で防犯や交通安全対策を講じるべきで、周辺自治区にも配慮すべきではないかとの質疑に対し、防犯・防災については、市民目線で全市を対象に検討していく。設置後も検証をし、必要な措置を講じていきたい。との答弁がありました。

また、「農道及び林道並びに道路橋梁整備事業」や「市営住宅改善事業」についても、農道や林道の維持管理予算、狹隘市道の回転場や待避所等の設置、橋梁修繕等に関する質

疑等があり、いずれも生活に密着した事業であり、緊急性の高いものから優先順位をつけて事業実施をした。との答弁がありました。

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、平成21年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）等の予算議案11件については、採決の結果、それぞれ全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

## ○平成22年度浜田市一般会計予算について

浜田市一般会計予算については、常任委員会所管ごとに、質疑が集中した事業をご報告いたします。

・総務文教委員会関係では、「路線バス廃止対策事業」について、基本的には現在のバス路線は絶対に残すべきである。仮に廃止されたとする、対象地域住民への手厚い配慮をすべきではないかとの質疑があり、執行部からは、基本的にはバス会社に路線存続の要望をしていく。仮に廃止になったとすれば、移動確保策を示しながら地域住民への対応などをしていく。との答弁がありました。

「地域安全まちづくり事業」では、地域防災スクール事業で、対象学校の指定はどうか、取り組み内容などの質疑があり、モデル校2校を指定することや、市全体の安全マップ作成の取り組みやスピード感をもった対応、また、海を利用したプログラムの取り組みも検討する。との答弁がありました。

「共同調理場管理運営費」では、学校給食の各自自治区の1食当たりのコストの違いや税負担についての質疑があり、かなりコストの開きがある金額が示され、23年度からの給食センターの統廃合をにらみ、関係者に現状を示していきたい。しかし、食育や地産地消の観点で、利用者に喜ばれている現状などもあり、コストだけでは理解も得にくい。住民の理解と協力が重要であり、結論は、極力早めにと考えているが時間も必要だ。との答弁がありました。

・福祉環境委員会関係では、少子化対策関連予算、具体的には、子ども手当支給事業や放課後児童クラブ設置事業及び放課後児童居場所づくり推進事業、特別保育事業等につい

て、質疑がありました。

国の子ども手当支給事業の対象者数と給付費の総額や放課後児童クラブ設置は、市内全域で確保されているのか、また、指導員等の配置や待遇、責任の所在等について質疑があり、執行部からは、子ども手当について予算上の対象人数は、公務員を除いて約5,500人、総額は、約7億2千万円が予想される。また、放課後児童クラブについては、小学校区単位でいうと数箇所を残し設置されている。配置総職員数は、53名で給与については、市の臨時、パート等の給与に準じている。最終的な管理上の責任は、任命権者である市にあると思う。この答弁がありました。

「私立保育所施設整備補助事業」については、事業申請に至る経過、施設の運営形態、将来の子どもさんの数や設置場所について、また、今後慎重に対応すべきではないか。との趣旨の質疑がありました。

執行部からは、幼保連携型の認定子ども園の開設も視野に入れて検討されたが、種々の理由により、保育園とされた。国府地域外に83人の入所者もあり、需要があると判断した。出生も昨年度を上回る状況であり、親の就労による保育園入所の申し込みも増加傾向である。相対的に判断し提案させていただいた。との答弁がありました。

「がん検診事業」については、胃

がんや肺がん、大腸がんなどの検診時の自己負担金を無料化にする、浜田市独自の支援策について高い評価をする。早期発見と受診率の向上を図ることが有益ではないかとの質疑があり、執行部からは、無料化に合わせ効果的、効率的な検診体制をつくり、受診率の向上を図る。との答弁がありました。

「リハビリテーションカレッジ島根」について、平成22年度から新たに入学金の助成支援も行い、入学者の確保に努めたいとの提案説明に対し、法人の経営努力、組織体制のあり方、来年度以降の見通しと支援について、また、今回の提案にあたり議会への説明が遅れた理由、提案資料が不足しているのではないか等について質疑がありました。

執行部からは、学校側は人件費の削減、旅費規程の改定など経営努力をされる。今後は、学校の体制の充実はもとより、地元のアパートの家主会等とも連携し、定期的に会議を開催していく。何回も検討されての支援要請になったと考えている。いろいろ考え方はあったが、学校側では入学金免除が一番有効と判断された。事前の議会対応が不十分であり申しわけなかった。今後の対応と資料不足等については、示していきたい。との答弁がありました。

・産業建設委員会関係では、「テクノカプエ構想推進事業」については、

この事業の目的や具体的な計画、事業費内訳について質疑がありました。

執行部からは、浜田市の特別顧問である佐々木正先生を中心に、多くの提案ができ、人的ネットワークも構築できたと思っている。浜田市内の企業への技術移転と事業化を推進し、新たな産業の創出と雇用創出を図ることが目的である。各分野の第一人者を招き、地域が一緒になり方法や手順を学ぶこととしている。市場のニーズにあったものを求めて、雇用の場をつくるのが大命題と考えている。と答弁がありました。

「旭温泉再整備事業」については、最近の入りこみ客の状況やあさひ荘の経営が赤字の状況からして、事業に投資することに疑問を呈する質疑があり、執行部からは、旭温泉の整備は、旭自治区の懸案事項であり、このままでは旭温泉自体の温泉機能が失われ、民間を含めた施設経営自体ができなくなるのが危惧される。指定管理者制度を視野に入れ、今後は経費のかからないコンパクトな大衆浴場としての経営に特化することが求められており、新しい源泉を確保し、施設の経営安定を図りたい。との答弁がありました。

「雇用促進住宅購入事業」については、購入原資や購入後の入居対策などの質疑があり、購入原資は、まちづくり振興基金の一部を当てる。

購入後は、住宅に困って居られる方が入居できるよう、入居率を高めるよう努めたい。との答弁がありました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

○平成22年度浜田市特別会計予算について

浜田市国民健康保険特別会計予算など、特別会計予算13議案について審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

○平成22年度浜田市企業会計予算について

浜田市水道事業会計予算など、企業会計予算2議案について審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



予算審査委員会の審査風景

# 可決した主な事業

## 路線バス廃止対策事業

石見交通バス路線「浜田・大谷・三隅線」の一部（牛谷～みすみ荘）が廃止されることに伴い、代替交通の運行を行う。

## 地域安全まちづくり事業

防災及び防犯の両面から、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため特にソフト面の充実を図る。

## 放課後児童クラブ設置事業

保護者の多様な就労形態に対応し、児童の生活の場を確保する。

平成22年度から土曜日（月2回）及び学校行事等による振替休日の開所を全てのクラブで実施する。

## 父子手当支給事業及び児童扶養手当支給事業

### 【父子手当支給事業】

●父子家庭に対して平成22年8月から児童扶養手当が支給されるのに伴い、支給の要件を緩和し対象者の拡大を図る

### 【児童扶養手当支給事業】

●父子家庭の父等に対して、母子家庭同様に支給する  
平成22年8月1日から

## 子ども手当支給事業

子ども1人ひとりの育ちを社会全体で応援するために、中学校修了までの児童を対象に手当を支給する。

**対象** 中学校修了までの児童を養育するすべての父または母等

## がん検診事業

がんの早期発見を促進するため、がん検診の自己負担金を無料化し、受診率向上を図る

## リハビリテーションカレッジ島根支援事業

学生の確保が困難な状況から、22年度から新たに入学金の助成について支援を行い、入学者の確保に努める。

## 飲料水安定確保事業

飲料水その他生活に必要な水を確保するための井戸等を整備する方に対し、整備に要する費用の一部を助成する。

**対象地区** 市全域

## 地球温暖化対策支援事業

浜田市地球温暖化対策推進計画による二酸化炭素排出量の削減を図る。

住宅用太陽光発電システムを設置する個人に対し市独自に助成を行う。

## ごみ処理基本計画策定事業

ごみ処理行政の抜本的な見直しを図り、ごみ処理施策を推進するため、ゴミ処理基本計画策定の業務を委託する。

**【計画の柱】** 排出抑制計画・分別収集計画・ごみ処理計画

## テクノカフェ構想推進事業

佐々木正特別顧問が提唱する“テクノカフェ”構想を推進し、新産業の創出と雇用拡大を図る。

**事業場所** 浜田合同庁舎内

## 旭温泉再整備事業

旭温泉あさひ荘の宿泊施設を廃止し、日帰り入浴に特化した大衆浴場として、再整備を行う。平成22年度は温泉掘削に伴う調査を行う。

## 雇用促進住宅購入事業

雇用促進住宅の廃止に伴い、浜田市内4箇所の住宅とその敷地を購入する。

（市内雇用促進住宅） 小福井住宅、金城住宅、内田住宅、国府住宅

## 浜田文教地区基盤整備事業

浜田医療センター跡地の敷地造成にあたり、周辺の文教地区にふさわしい市街地の基盤整備を行う。平成22年度は測量設計業務を委託。

## 消防救急無線設備整備事業

消防救急無線をデジタル化し、安定した通信の実現を図り、消防業務の円滑な推進を図る。傷病者情報等個人情報保護、消防・救急車両の位置情報、水利情報、データ伝送ニーズへの対応、双方向通信の実現を図る。

## 小学校・中学校耐震改修事業

耐震診断の結果、耐震性能判定指標が0.7未満となった校舎等の建築物について耐震補強計画を策定する。また補強困難な建築物について建替えをおこなう。

## 長浜小学校改築事業

長浜小学校の現地改築で安全安心な教育環境の整備を図る。

## 地域行政窓口設置

・浜田自治区の連絡係が併設の公民館と業務統合し行政サービスを提供する。

・金城・旭・三隅自治区の公民館に行政ネットワークを活用し、行政窓口を設置し、住民票などの証明書を発行する。

・自治区公民館での行政窓口は、公民館活動に影響しない範囲で地域ニーズに応じて開設時間を設定する。

## 中央図書館整備事業

現浜田図書館は老朽化・狭隘化しており、また生涯学習意欲の高まりもあり、市民の生涯学習拠点として、中央図書館としての機能を持つ新しい図書館の建設に取り組む。

## 三隅図書館整備事業

三隅自治区が進める生涯学習の拠点となる公民館と図書館の環境整備。

滞在型図書館、町の歴史資料センター、ふるさとを感じ夢のもてる図書館を整備する。中央図書館の施設の機能・役割分担を整理し三隅らしい図書館のあり様を検討する。

## 今議会で可決された決議

### 三隅発電所2号機の早期建設を求め る決議 抜粋

三隅発電所2号機の建設計画変更による延期は、今回で既に3回目であり、早期建設を待ちわびる市民の期待を裏切る、誠に遺憾な行為であると云わざるを得ない。

このたびの再延期の提示は、行財政改革に取り組む浜田市にとつても、三隅自治区のまちづくり計画のみならず、中長期的なプロジェクト計画に大きな見直しを余儀なくされ、到底容認できるものではない。したがって、三隅発電所2号機の建設について、本議会は中国電力株式会社に対し、「平成26年度着工、

平成29年度運転開始」とされるよう強く求めるものである。

### 石見交通株式会社へ16路線廃止の撤回を求める決議 抜粋

昨年12月25日、石見交通株式会社から突然16路線(6路線は事前報告)の廃止が発表された。

生活路線バスは、地域住民にとつて通勤、通学、通院など、最も身近で欠かすことのできない重要な交通機関であることから、石見交通株式会社へ補助金を投じてきた。一方的に路線廃止が発表されたことは誠に遺憾である。

よって、石見交通株式会社においては、今回の路線廃止を一旦撤回し、関係機関と十分協議されることを強く要請するものである。

## 【請願・陳情の審査結果】

件名	提出者	結果
後期高齢者医療制度を廃止し高齢者が安心できる医療制度創設を求める意見書の提出について(継続中)	島根県社会保険推進協議会 会長 池淵 栄助	不採択
今後国の動向を見据え新制度の内容がある程度明らかになった段階で、審議するべきとの意見が出され、委員会で採決の結果、賛成者なしにより「不採択」とすべきものと決しました。		
県の福祉医療費助成制度の定率(応益)負担を廃止・撤回し定額負担に戻すことを求める意見書の提出について(継続中)	島根県社会保険推進協議会 会長 池淵 栄助	不採択
一律に定率から定額負担に戻すことについては賛成できないという意見、国の福祉制度の動向が不透明であり今後の国の制度設計を見据えた方がよいという意見などが出され、採決の結果、賛成者なしにより「不採択」とすべきものと決しました。		
「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書の提出について	小池 史朗	継続
永住外国人への地方参政権を付与する法律の制定に反対する意見書の提出について	日下 光堂	採択 賛成多数
脳脊髄液減少症の治療推進及び意見書の提出について	島根県脳脊髄液減少症患者支援の会 代表 瀬尾 瑞枝	採択

### 【陳情】

高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成について	肺炎球菌ワクチンを広める会 代表 磯部 威 外1名	採択
恩地排水路の拡幅改良工事の継続施工について	上府自治会 会長 佐々木 正和 外6名	継続
浜田医療センター新築移転完了に伴う跡地の有効活用について(継続中)	浜田市文化協会 会長 遠藤 公輝	継続

## 会派代表質問

### 創新会(19人)

質問時間70分

びうらよしき  
美浦美樹



### 平成22年度施政及び 教育方針について

#### 質問

① 犯罪のない安全・安心なまちづくりについて、今後、ハード面に併せ市民参加の輪を広げるとともに継続的な防犯意識の高揚を図る取り組みが重要と考えるが所見を伺う。

#### 答弁

① 一刻も早く市民の不安を解消すべく、緊急的対策を実施してきた。今後は、地域住民参加による市全域の「地域安全マップ」を作成し地域の安全対策を見直すとともに、防犯意識の高揚を図ることとしている。

この結果を踏まえ、防犯灯や防犯カメラを計画的に設置するとともに地域防犯力を強化するため、町内会や自治会などの地域コミュニティを醸成したい。併せ四月から「安全・安心課」を設置し全庁挙げ万全の安全対策を講じる。

#### 質問

① 本市の小中学生の基礎学力の現状評価と今後の取り組み方針を伺う。

#### 答弁

① 平成21年度の県学力調査分析から、中学校は概ね全国的な値を上回り、小学校は全国的な値とほぼ同じで、高学年は少し下回り課題が残る。

生活面では、家庭学習時間が少ない傾向にあり今後も校長会、PTAと連携し基礎基本の定着を図っていく。

特に、生活リズムの改善、学校図書館の充実による言語活動の充実と感性の醸成等を重点的に推進する。

#### 質問

① 医療センターに期待が寄せられているが、県西部の医師不足は危機的状況にあり、関係自治体の一体的取り組みが求められると考えるが、地域医療の現状と課題を伺う。

#### 答弁

① 県西部の地域医療の現状は、医師の引きあげや流出が続ぎ、市民生活を脅かす危機的状況になっている。

浜田医療センターでは、日野院長はじめ関係者の懸命の働きかけで、脳神経外科医2、呼吸器内科医1、

心臓血管外科医1の計4名が増員、研修医も4名から11名になる予定である。しかし、神経内科医の不在や麻酔科医の不足が喫緊の課題であり更に、県西部の中核病院の医師不足で救急外来を含め外来、入院患者の増加が顕著となり医師の疲弊が心配される。看護師についても増員が必要と伺っている。

今後は、県西部全体で知恵を出し合い共通認識のもと、一丸となつて乗り越えなければならぬと考える。

**質問**

① 石見交通によるバス路線の、4路線廃止が示されているが、このことによる沿線住民の日常生活に及ぼす影響は大きな問題であり、早急に全市的な視野の基に、公共交通体系の方針や計画を樹立して示すべきと思うが所見を伺う。

**答弁**

① 現在、市では高齢者や交通弱者の皆さんの移動手段を確保するため市営バスや予約型乗合タクシー、自治会輸送事業を展開している。

今後、住民の移動実態の把握に努め、浜田市全体の総合交通体系については計画をしていく。

**質問**

① 農林業は地域を守る産業である。持続的な農業が営まれる当市独自の施策、支援の必要性について伺う。

② 所得保障制度は本市の農業者にどのように影響するか、農業産出額3億円アップの具体的施策を伺う。  
③ 水産都市浜田の振興には、老朽化している地元底曳船更新への支援や、地区外船のポートセールスの継続など、重要と認識するがその具体策と方針について伺う。

**答弁**

① 当市の独自施策としては、産直市への出荷助成、耕作放棄地解消対策、農業後継者育成、林業では路網整備や、新規植栽、間伐材生産助成などの事業を実施している。

② 米の販売農家には規模の大小を問わず、交付金が交付され経営の安定化を図られる。

③ 3億円アップについては特色ある稲作指導、有機軟弱野菜、ピオーネの生産拡大、加工品開発等を進める。

④ 沖合底曳網漁業では、代船取得対策が急務と認識しており、国に引き続き要請していく。ポートセールスは新年度には、北海道、青森、長崎に計画しており積極的に取り組む。

**その他の主な質問項目**

- 自治区制度 定住対策 中央図書館建設 防災行政 行財政改革
- 校舎の耐震化 子育て支援 環境施策 観光振興 市制施行70周年記念事業

**市民連合(4人)**



江角敏和  
えすみ としかず  
質問時間30分

**医療センターを核とした医療体制の充実と連携について**

**質問**

① 医療センターの移転新築に伴い機能の拡充が図られたが、課題の解消や県西部における医師不足への対策、また医師等の負担を軽減すべく市民へ救急車や医療機関の適正な利用に向けた啓発方を伺う。

② 国の10年ぶりとなる診療報酬のプラス改定や肝炎総合対策が与える効果、医療センターの夜間緊急利用時の案内板設置や駐車場確保、自由通路の照明、バス停の風雨除けの改善など、市民要望への対応を問う。

**答弁**

① 一部診療科の医師不足は未解消だが、来年度は神経外科が2名、3つの診療科で4名、研修医で7名増の予定である。県西部の医師不足へは、広域医療を担う医療機関の整備、ドクターヘリ等の患者輸送体制充実の緊急性と県東部への医師偏在解消を訴える。市民啓発は、あらゆる機会を活用し、積極的に行っていく。

② 診療報酬改定等の効果は、現在推測できないが、医療を取り巻く諸問題の解決に向けた政策の一つと受け止めている。市に寄せられた医療センターへの要望は、情報提供を行うなかで、その都度改善に努力されている。市管理の周辺施設に対する要望へは、改善に向け取り組む。

**その他の主な質問項目**

- ① 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて
- ② 新政権と政策転換について
- ③ 経済雇用情勢の分析と経済雇用戦略について
- ④ 自治区制度の今後と自治基本条例の策定について
- ⑤ 社会復帰促進センター効果と諸施策等の初期検証について
- ⑥ 中央図書館と土地利用計画の策定について
- ⑦ 健康でいきいきと暮らせるまちづくりについて
- ⑧ 地域資源を活かした産業を創造するまちづくりについて
- ⑨ 快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまちづくりについて
- ⑩ 行財政改革について
- ⑪ 予算編成と今後の財政運営について
- ⑫ 教育方針について

## 公明クラブ（2人）

質問時間20分



ささきとよはる  
佐々木豊治

### 公共施設（ハコモノ）の有効活用について

#### 質問

地方健全化法の公布にともない、4指標の作成・公表が義務づけられたが、これにより、自治体経営が健全化に向かうわけではない。見かけ上、財務状況は健全であっても、例えば投資的経費の抑制によって「ハコモノ」はボロボロで、行政サービスが低下」というような実態は見えてこない。見えないところで自治体経営が悪化していく可能性が大にある。そこで、公有施設のハコモノなどの老朽化の現状、利用状況、運営に係わるコストなど、その施設のデータを総合的に調査分析を行う「公共施設マネジメント白書（施設白書）」を作成し、経営的な視点から、施設の今後の有効活用に向けた検証を行うとともに、持続可能な財政運営を進める先進自治体が出ている。そこで以下伺う。

- ① 公共施設の今後の有効活用の計画及びマネジメントの考え方を伺う。

- ② 浜田市としても限られた財源のなかで、持続可能な財政運営を図るためにも、「公共施設マネジメント白書（施設白書）」の作成に取り組みべきと思うが、考えを伺う。

#### 答弁

- ① 行財政改革の一環として、「浜田市見直し指針」を策定しており、この中で施設の現状分析を行い、見直しや有効活用を図ることとしている。また、具体的には短期・中長期的な視点で、財務状況や費用対効果などを検証し、今後の方向性を検討する。

- ② 「施設白書」については、今後の自治体運営には欠かせない観点であり、公有財産の効率的な運営や施策判断には有効と考えており、今後研究していく。

#### その他の主な質問項目

- ① 高齢者福祉施策について
- ・ 3世代同居を支援し奨励する市独自の支援制度について
- ・ 介護現場で働く職員に対する市独自の支援制度について
- ・ 地域で福祉を担う「地域密着型福祉チーム」の構築について
- ② 市民の命を守る施策について
- ・ 学校施設整備費について
- ・ 女性特有のガン検診について
- ③ 子育て支援策について

## 個人一般質問

学習環境の整備充実ならびに人材育成支援について



かわかみひろし  
川神裕司

#### 質問

- ① リハビリテーションカレッジ島根の生徒数減少は大きな問題であるが、周辺に対する影響はどうか聞きたい。

- ② この法人の重要性に対する認識と生徒数確保における今後の行政支援策はどうか。

- ③ 人材育成のための奨学金は極めて有効だが、今後の奨学金の拡充方針を聞きたい。

#### 答弁

- ① 地元経済に及ぼす波及効果を平成21年度で試算すると5億9千2百万円となる。特にアパート経営に大きな影響がでており非常事態である。

- ② 医療現場の人材確保の観点からも欠かすことのできない重要な施設である。市としても、入学金補助・各種減免等全面支援を行っていききたい。

- ③ 現行より対象を広げ奨学生の後年度負担を軽減する等制度の拡充を図っていききたい。

ムダをなくす

行政運営について



みつうらみほ  
三浦美穂

#### 質問

- ① 物件費等55億円財源計画の進捗状況を問う。

- ② 全庁的なムダ削減の具体的な取り組みについて問う。

- ③ 歳出全般の事業見直しの手法として「事業仕分け」は、有効な手法といえるが、導入に向けての考えを問う。

#### 答弁

- ① 平成27年度までに、282項目合計金額57億円余りの財源確保の達成を目指している。平成21年度までに141項目達成、財源確保の効果額は約7億5千万円となる見込み。

- ② 職員が普段から経費節減や、コスト意識を持ち、休憩時の消灯、封筒の再利用、カラーコピーやエレベーターの原則使用禁止等、計19項目の目標を定め取り組んでいる。

- ③ 費用対効果・有効性・有益性を勘案し、現在実施している「行政評価」等との整合性も含め検討する。

#### その他の質問

- ① 違法薬物への対応について
- ② 高齢者福祉の充実について

安全で安心な  
まちづくりについて



牛尾 昭

質問

① 県のNシステム増設、市の安全マップの作成、市民による街路灯や防犯カメラの寄贈など以前より浜田のまちは、安全になったが、悪魔のような犯人によって絶たれてしまつた平岡都さんの夢や志を風化させず次代に伝えるために市や大学、市民が協働し仮称、県大夢基金を創設して彼女の夢を後輩に託してはどうか。

答弁

① 趣旨はよく分かるので、早速大学に出向き、その旨を伝えたい。  
② 貴重な提案であるが、学習指導要項を適切に行い総授業時間を確保しての導入は、ハードルが高い。

その他の質問

- ① 三隅火力発電の延滞問題
- ② 旧医療センター跡地問題

観光振興について



西田 清久

質問

① 観光客の受け入れには、地域のホスピタリティー精神が重要と考えるが如何か。  
② 浜田市観光協会の組織に企画、営業部門を設置すべきと考えるが、所見を問う。

質問

③ 浜田市内の各団体や施設、地域行事の情報を紹介したり、市民活動を積極的に推進するための市民活動情報センターを設置しては如何か。

答弁

① 今後も、市民全体で温かく観光客を迎え入れるホスピタリティー精神の醸成に努める。  
② 観光協会が、企画・営業に力を入れ、市の補助金に依存する体質から改善を図る上でも重要で、研究を進める。  
③ 関係団体と十分協議する必要がある、先進地の事例を研究したい。

その他の質問

PEET-CTに係る積極的がん対策について

地籍調査事業の推進について



原田 義則

質問

① 各自治区の進捗状況を伺う。  
② 平成22年度の計画について伺う。  
③ 現状のペースで進むと何年後に完了になるのか伺う。  
④ 完了までの費用は、概算どの程度になるのか伺う。

答弁

① 浜田自治区22・29%、金城自治区28・92%、旭自治区79・82%、弥栄自治区14・86%、三隅自治区4・64%となっている。

② 浜田自治区は熱田町、金城自治区は上來原、入野地区、旭自治区は今市、坂本地区、弥栄自治区は野坂、小坂地区を継続し新規に弥栄自治区の高内地区を行う。三隅自治区は三隅益田道路関連で岡見地区の一部、古市場地区の一部の調査を継続して行う計画である。

③ 今後50年〜60年にかかるものと予想される。  
④ 100億〜120億かかるものと予想される。

その他の質問

市道の管理について

浜田市の命を大切に  
施策について



三浦 一雄

質問

1月27日の新聞発表では、昨年の自殺者が3万2,753人(前年より504人増)となり、過去5番目に多いと記事になっている。島根県はワースト6位にあると報じられた。市長は施政方針演説のなかで、『自殺予防対策については、様々な生活相談に応じられる体制強化に努める』と述べられたが、このような判断された背景について伺う。

答弁

浜田市は、ここ10年間の平均自殺死亡率は全国・島根県平均を上回り、8市の中で2番目に高い状況にある。浜田市として、自殺予防の重要性、緊急性を地域に広げること、市民の大切な命を守る取り組みを進める。

質問

施政方針を具体化するためにも、『自殺防止対策委員会』を設置して、市民に不安感を払拭して安心感が持てる対策を検討できないか。

答弁

医療を含めた関係機関と連携して、検討したい。

わかり易い  
市政の運営について



平石 誠

- 質問**
- ① 総合窓口課で実施している、ワンストップサービスについての現状の認識、今後の課題について問う。
  - ② 電話交換業務の充実（コールセンター方式等）と、各課への直通電話方式導入についての考えを問う。
  - ③ 予算執行についての情報開示状況と、工事看板への予算額記載の可否について問う。

- 答弁**
- ① 複数の手続きを移動することなく処理できるため、来庁の方から好評を得ている。今後、支所での実施を目指す。
  - ② 電話交換職員の研修等、市民サービス向上のため、総合的に検討し、前向きに取り組む。直通電話については、代表電話番号との併用により、本年4月より導入する。
  - ③ 広報はまだや、ホームページ等でグラフや図を用い、わかり易くお知らせている。工事看板の件は、県の記載要項等確認し、判断したい。

地域経済の振興策、雇用対策について



芦谷 英夫

- 質問**
- ① 介護職員の定着率、正規職員化についての施設への要請について伺う。
  - ② 介護報酬3%アップは、介護職員の給与引き上げにつながっているか伺う。
  - ③ 保育士の定着、処遇向上の働きかけを伺う。

- 答弁**
- ① 離職率は18.7%で全産業の平均離職率を上回っており、介護職員の定着率は低い、正規職員化について議員の声があつたことを伝えたい。
  - ② 給与が増えたと回答した事業所は40.7%で、うち給料で18.5%、手当で6.5%、賞与で15.7%となり、給与の増額につながっていない。
  - ③ 県内保育所の定着率は19年度は77.4%、20年度は83.9%。保育士の処遇は大事であり、議員の声を園長会議などで話をしたい。

その他の質問  
成長分野の振興策、就職氷河期への対応、企業や工場閉鎖の状況と対応

平成21年12月  
一般質問と観光振興について



笹田 卓

- 質問**
- ① 浜田市における水産業に対する補助や助成や融資が分かりにくかったり、使いづらいのであれば使いやすいうようにしたいと答弁があつたが進捗状況を伺う。
  - ② 利用問題も抱える瀬戸ヶ島に民・官が力を合わせた海難救助隊を組織するには諸課題を解決すれば可能だと答弁があつたが進捗状況を伺う。
  - ③ 地元の子供たちに海を使った『ツーリズム（体験・観光・交流）』を行うことにより、浜田の宝に気付き、浜田に誇りを持ち、海を通じてリスクマネージメント力を育て、さらには子供が子供をもてなす『自然を活かした子供交流型ツーリズム』も可能だと考えるが所見を伺う。

- 答弁**
- ① 今年新しく漁業者になる方に早い段階で日時を決めて説明会を行い、分かりやすく説明する。
  - ② 島根県とも協議し、瀬戸ヶ島利用も可能だと回答があつた。実現するためにも研究を続けていく。
  - ③ 積極的に取り組んでいく。

まちづくりについて



大谷 弘幸

- 質問**
- ① 自治区制度検証後のまちづくり推進について。
  - ② 住民自治組織の設立について。
  - ③ ひとづくりの取り組みについて。
  - ④ 行財政改革推進について。

- 答弁**
- ① 合併協定項目の調整は進めており引き続き取り組む。制度の見直しについては、より良い制度構築に向け一層積極的に対応する。
  - ② 「地区まちづくり推進委員会」は7地区で設立。今後設立に向けては、市民意識の醸成を図り組織の設立を一層推進する。
  - ③ まちづくりは重要課題であり、まちづくり人材育成と共に、地域住民の生きがいづくりの機会の提供や子どもを育む環境づくりの一役を担う公民館活動の充実に一層努める。
  - ④ 本庁・支所体制の見直しは図ることとしており、機構改革は市民ニーズに沿って市民目線で22年度に本庁、23年度は全庁的に実施する。

その他の質問  
図書環境について

## 学校給食費と 保育料の滞納について



おかもと まさとも  
岡本正友

**質問** 学校給食費や保育料の滞納状況と改善対策についてどのように図られているかを問う。

**答弁** 学校給食費の滞納額の合計は平成22年2月現在、約368万円となっている。また保育料の過年度分の滞納累計額は139人分3千5百36万円である。

収納対策として、督促状の送付や電話による納付勧奨、個別訪問などを実施し、関係管理職と連携して滞納額の削減に努力している。

**質問** 新年度から支給される子ども手当からの補てんについて問う。

**答弁** 受け取られた子ども手当から納付してもらうように、納付勧奨を行う予定である。

## その他の質問

倒壊危険家屋の対策について、学校用務員の学校支援活用について、広島PRRセンターの地元企業のPRR戦略活用について 他。

## 市民に安心感を与える政策を



みちした ふみあき  
道下文男

**質問** ① 少子化対策として男女の出会いを支援し、活性を図られては如何か。

② 安心して働ける放課後児童クラブでの土曜日毎週開所は、全国あるいは近隣市町村でもすでに取組まれている。市は新年度からの隔週開所であるが、早期実施の考えを伺う。

③ 新医療センターが浜田駅と一体型で開院し、市民の利便性・安心感により高揚したが、駐車料の30分無料化が無くなり、冷たさを感じる。市から要請する考えはないのか伺う。

④ 自主防災組織の結成は、隣近所の絆を深め、地域に大きな安心感を醸成する。育成への考えを伺う。

**答弁** ① 出合い応援事業を新設する。  
② 毎週開所に向け、平成22年度前期に検討する。

③ 1日平均500名以上の外来患者の駐車場を確保する必要があり、理解していただきたい。

④ リーダー育成や要援護者支援の検討、結成団体の防災設備費用の助成など新たな予算を計上する。

## 新年度の 観光振興施策について



ふせけんじ  
布施賢司

**質問** ① 21年度の組織機能の見直し効果と検証はどうか問う。

② 食を観光資源化するため、「浜田の五地想ものがたり推進協議会」の連携や推進を問う。

③ 広域共通観光資源である「石見神楽」の重要性と地域資源との連携を問う。

④ 高速道無料化による観光産業の影響について問う。

**答弁** ① 職員1名増員し、多様化したニーズに対応。各協議会との連携や育成強化を図り、石見観光キャンペーンの検証と問題点を分析してきた。

② 価格帯やご当地グルメを研究し、多くの飲食店が事業の波及効果やPR効果を享受できるよう図る。

③ 石見神楽の里としてのイメージを定着させるため「温泉・食・ツーリズム」と複合させ、物語性をもたせた観光振興に取組んでいく。

④ 大いに期待しており、メリット化する事が重要で広域で取組む。

## 疲弊する地域経済と路線バスの 廃止について



しんたかつかつひこ  
新田勝己

**質問** 浜田市内で、老舗の事業所を含めて閉鎖している。事業所数と現状認識について問う。

**答弁** 事業所数は、2008年は減少していないが、製品出荷額が前年より減少し、厳しい状況が続いている。2009年は集計していない。

**質問** 県西部における医師不足と石見交通の16バス路線の廃止は深刻な問題だ。関係市町からは、廃止撤回の動きが出ている。路線バスの廃止に対する見解を問う。

**答弁** 路線存続の要望をした。又、地域住民の生活交通を担う重要な位置づけと認識している。国や県に対し、廃止の手続きで地元の同意を盛り込んだ法改正の要望を行う。

## その他の質問

① 石州半紙のユネスコ無形文化遺産について  
② コメ農家戸別所得制度について

## 福祉環境整備と

### まちづくりについて



田畑敬二

- 質問**
- ① 第4期介護保険施設整備計画施設整備の増床計画は、270床であるが、計画通りできるか何う。
  - ② 26公民館、6分館の利用状況、職員の勤務実態及び報酬を何う。
  - ③ 公民館単位のまちづくり推進委員会設置状況について何う。
  - ④ 推進委員会設置後は、ソフト・ハード面での支援体制を何う。
- 答弁**
- ① 23年までに270床の増床計画である。23年中には、施設への入所可能であると考えている。
  - ② 26の公民館と6分館の利用実態は、1万7,339回であり、利用者は、28万313人である。また報酬は、館長、月52時間勤務で6万400円である。
  - ③ 現在、11地区で設置されており、22年度の早い段階で、設立予定もあり、地域の実情に合わせて決めている。
  - ④ 推進委員会設立後、委員会に出る限りの支援を検討している。

## 地域医療の危機打開について



西村 健

- 質問**
- 島根県、なかでも西部地域の危機的な医療体制打開のためにいま、全県的な検討体制が必要と思うが、現状と今後の方向性について何う。
- 答弁**
- 地域医療の現状分析や対応策については「島根県地域医療支援会議」で協議され、医療従事者の招聘や育成、ドクターヘリや遠隔画像診断などの整備、市町村や圏域を超えた医療連携を行う「島根県西部地域医療再生計画」が示された。
- 質問**
- 医療従事者の招聘や育成の内容について何う。
- 答弁**
- 医師確保は、現役医師を県外から「呼ぶ」、将来の地域医療を担う医師を「育てる」、女性医師の離職の防止、再就職を支援する「助ける」の3本柱で事業を計画し、助産師を含む看護師確保は、県内の進学・就職促進対策、養成所教員と看護師の人事交流を図る養成所支援対策などが計画されている。

## 三隅発電所2号機の建設計画変更について



山田 義喜

- 質問**
- 中国電力から10年程度延期したいとの申し入れであるが、上関原子力開発に目途が立ったことが主な理由で中電の都合によるものである。建設時期も平成30年代後半の計画でこれではアテにならない。
- 今回の変更は3回目であり、信頼を損なう行為で誠意が無いのではないか。対応策について問う。
- 答弁**
- 突然の申し入れで驚いている。これまで要望活動も行っており、非常に残念である。
- 今後、中国電力に対して詳細な説明を求め、対応については島根県や市議会、三隅自治区や三隅発電所地域経済対策協議会等関係機関とも十分に協議して進めたい。
- また、これまで培われてきた地域と中電との信頼関係が損なわれることのないよう意見交換を行う必要がある。

### その他の質問

石見交通バス路線の廃止について

## 人事案件

### 人権擁護委員候補者の推薦について

平成22年6月30日で任期満了となる同委員の後任として次のとおり同意しました。

- 佐々木典子さん
- (旭町都川) || 再任
- 上野 寿友さん
- (旭町今市) || 新任

## あとがき

世は正に構造的長期低迷不況、雇用不安。身近な生活空間の中では、親による幼児虐待、介護をめぐっての悲しい出来事、殺人事件等々。本当に憂慮すべき世相です。「人が人を思ふ心、人が人としての思いやりの心を持つて生きる」こんなごくあたり前のことを時代の進化の過程で見失ってしまったように感じます。

行政・議会・市民の垣根をはずし、石見の中核都市・浜田をどのようにするか絵姿が、求められています。

今日まで、このふるさと浜田を守ってくれた人生の先輩諸氏、これからも、守り続ける私たちが、次世代を担う子供たちのために何を残していくべきか、今こそ真剣に考えなければと強く思います。

(記) 田畑敬二